

## 令和2年木造建築士試験 「設計製図の試験」標準解答例の公表について

令和2年10月11日（日）に実施されました標記試験の標準解答例（合格水準の標準的な解答例をいう。）を下記のとおり公表します。

木造建築士試験は、建築士法第13条及び第15条の6の規定に基づいて、全国47都道府県の指定試験機関である当センター（理事長 井上 勝徳）が実施しています。

### 記

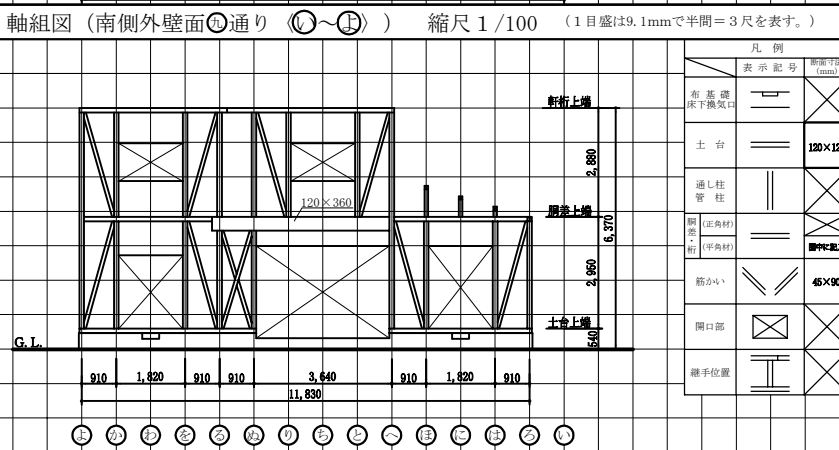
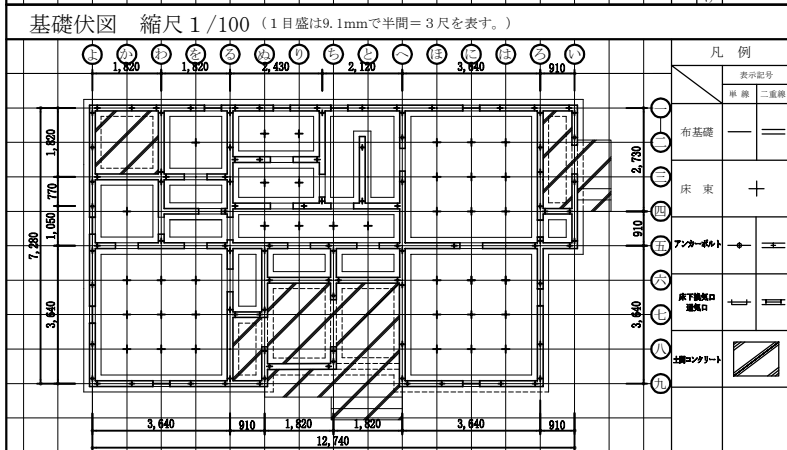
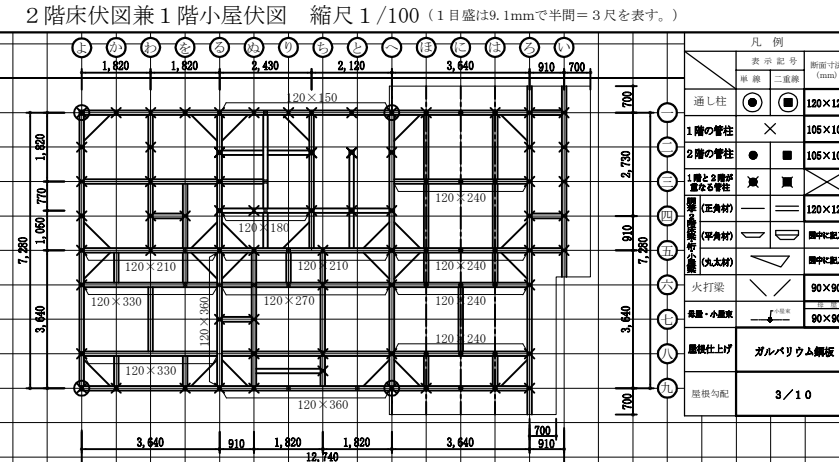
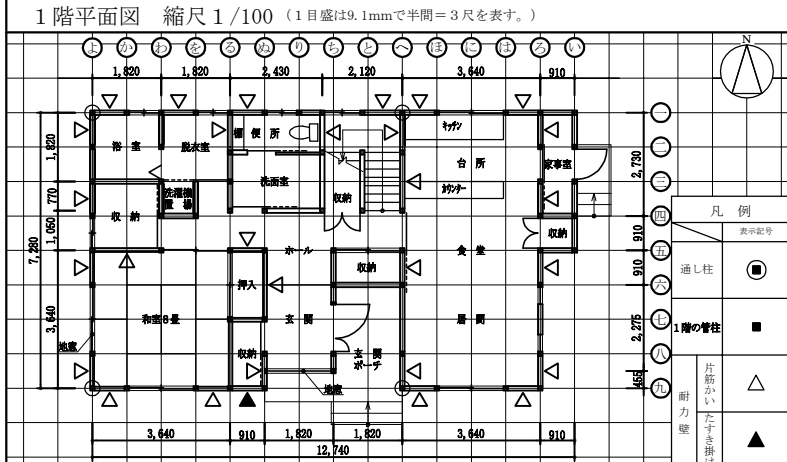
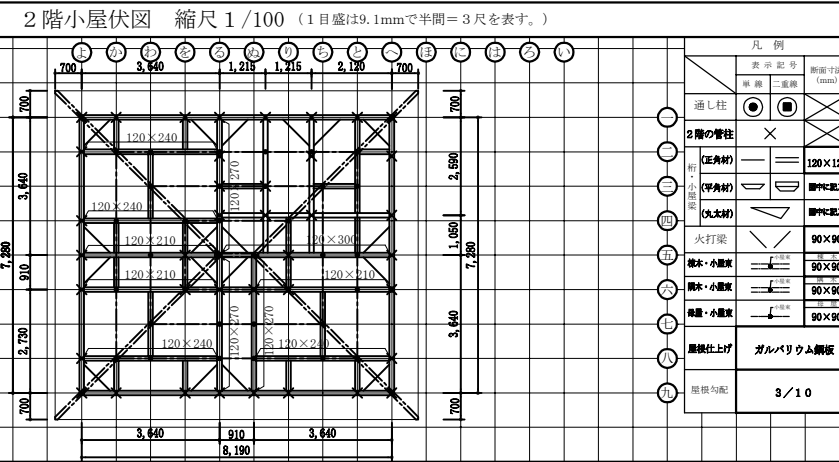
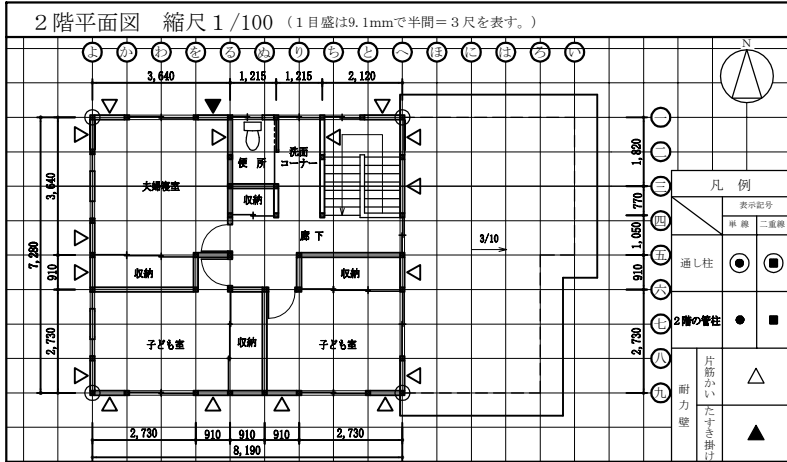
1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（木造建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ（URL <https://www.jaeic.or.jp/>）にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 柱杖<sup>はしらづえ</sup>図及び矩計図については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。

標準解答例

1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（木造建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総括的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ (URL <https://www.jaeic.or.jp/>) にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。

2. 柱杖図及び矩計図については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。

個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。



**主要構造部材表〔木拾い書〕** 2階床伏図兼1階小屋伏図における鋼筋、2階床梁、桁及び1階小屋梁について、平角材、丸角材の木拾いを行い、下欄に記入すること。なお、正角材は木拾いを行わずよい。

部材	断面寸法 (mm)	定尺長さ (mm)	本数	断面寸法 (mm)	定尺長さ (mm)	本数	断面寸法 (mm)	定尺長さ (mm)	本数
鋼 差	120 × 360	5000	1	120 × 210	5000	1	120 × 360	5000	1
	120 × 360	4000	1	120 × 210	4000	1	120 × 360	4000	1
2階床梁	120 × 330	4000	2	120 × 180	3000	1	120 × 330	4000	1
	120 × 270	5000	1	120 × 160	5000	1	120 × 270	5000	1
1階小屋梁	120 × 240	4000	4	120 × 240	4000	4	120 × 240	4000	4